

指導ポイント&ヒント 第19課 「21×14の けいさん」

【指導内容】①(2位数)×(2位数)の掛け算の筆算を理解する。

【日本語】① 順番を表す言い方に慣れる。

(例) まず そして つぎに さいごに

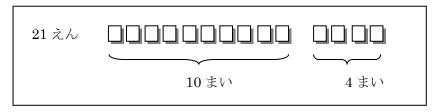
【概念図】

- 1 (2位数) × (2位数) の考え方と筆算の方法を理解させる。
 - ・21×14の計算場面を把握させる。
 - ・14 を 10 と 4 に分けて計算する。21×10=210 21×4=84
 - ・上記の考え方を基に 21×14 の筆算の方法を教える。
- 2 (2位数) \times (2位数) で繰り上がりのない筆算に慣れさせる。
- $\boxed{3}$ (2位数) \times (2位数) で繰り上がりがある筆算の仕方を理解させる。 \sim 1
 - ・ 23×26 の筆算で、先に計算をする 23×6 のところで繰り上がりがある場合。
- 4 (2位数) \times (2位数) で繰り上がりがある筆算の仕方を理解させる。 \sim 2
 - \cdot 39×75 の筆算で、39×5 でも 39×7 でも繰り上がりがある場合。
- $(2 位数) \times (2 位数)$ で繰り上がりがある筆算に慣れさせる。

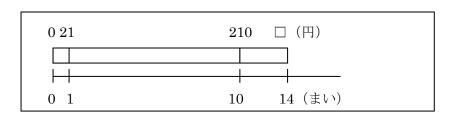
【配慮事項】 9課までで「掛け算の仕組み」が理解できたはずなので、10課からなるべく教科書に近い教え方にしました。しかし、本課では、多くの子ども達が苦手とする「繰り上がり」のある計算を扱っているため、繰り上がりする個所を中心に下記のような配慮をしました。 ①問題を今まで一番慣れている場面で導入した。

- 1枚□円の画用紙を□枚買った場合の代金を求める場面にする。
 - *教科書によっては、代金ではなく「配るための枚数」を求める場面で導入しているものがある。

図の描き方も慣れた下図を使う。

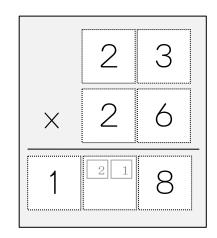


次のようなテープ図で導入すると、掛ける数の 14 を 10 と 4 に分ける際、もう一度 上図のような形にしなくてはならず、混乱しやすい。



- ② 1が 21×14 2が 32×12 3が 23×26 というように、掛ける数も掛けられる数も、 $1 \cdot 2 \cdot 3$ を中心に使い、九九の苦手な子どもや九九をまだ覚えていない子どもに配慮した。
 - *掛け算も3年生の内容に入ると、2年生で学んだ九九は習得済みと見なして説明を 進めたり、いろいろな段の九九を使った計算をさせたりすることが多い。しかし、 九九を十分に習得していないことも珍しくないので注意が必要。
- ③繰り上がりに不慣れな子どものために、 繰り上がる位の□に繰り上がった数を 書く小さな欄を設けただけでなく、 繰り上がりのない場合もいったん 小さな欄に数を書くようにした。

 $6 \times 3 = 180$ 十の位の1と $6 \times 2 = 120$ 一の位の2の 両方を小さな口に書かせ、 そのあと、2+1の計算をさせる。





在日フィリピン人児童のための算数教材 『掛け算マスター・日本語クリアー』

19課/Lesson 19/Leksyon 19

ようごとぶん/Words and phrases/Mga Salita

ようご	Words	Mga salita
うえ	top	sa itaas
した	bottom	sa ibaba

ぶん	Phrases	Grupo ng mga salita
		Sa panghuli, pagsamahin ang mga bilang na nasa itaas at ibaba.

19 21×14の けいさん

3 - 10

1

(2桁)×(2桁)の考え方と筆算方法の理解

21えんのがようしを14まいかいます。

だいきんはいくらになりますか。





14 まい

(2けた) × (2けた) の かけざん

① しきを かきましょう。

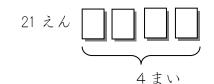
これもかけざんですね。

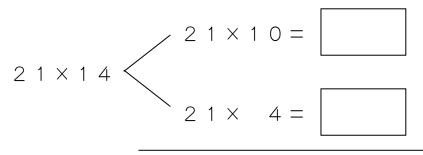


② 14まいを 10まいと 4まいに わけて かんがえましょう。

21 え	. h	
		10 まい





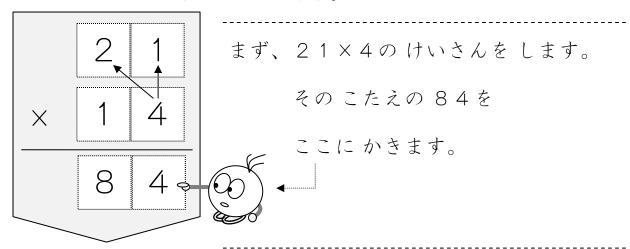


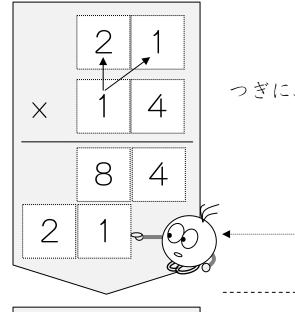
あわせていくつですか。



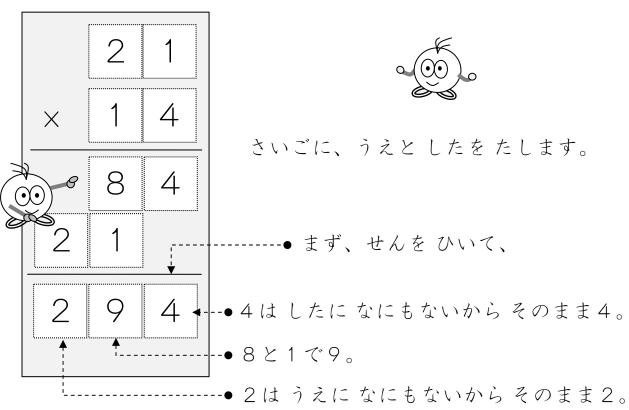


③ ひっさんの かたちに しましょう。



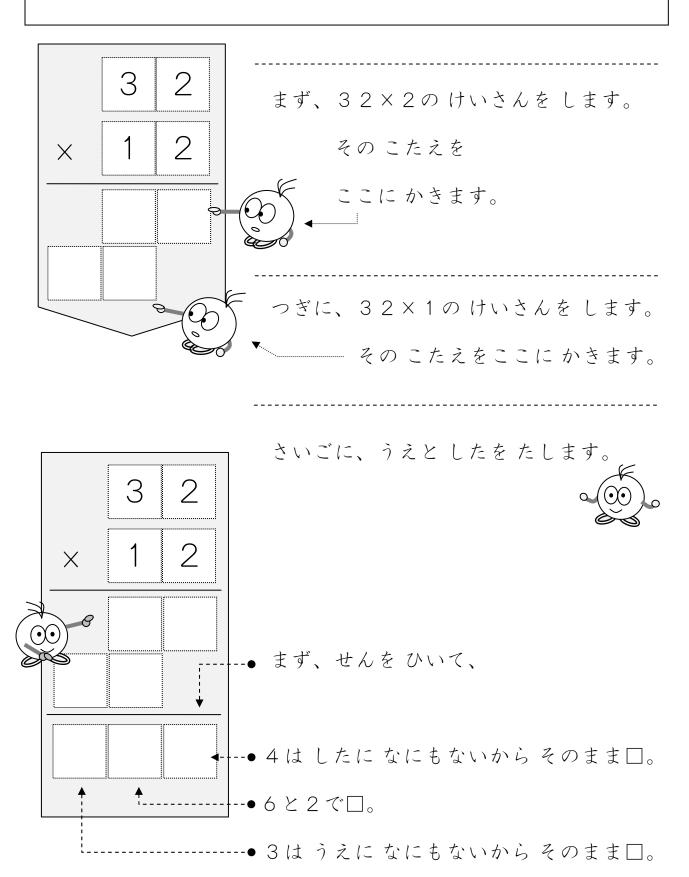


つぎに、21×1の けいさんを します。 その こたえの 21を ここに かきます。

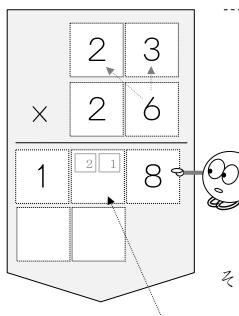


2

32×12のかけざんをひっさんでしてみましょう。



23×26のかけざんをひっさんでしてみましょう。



まず、23×6のけいさんをします。

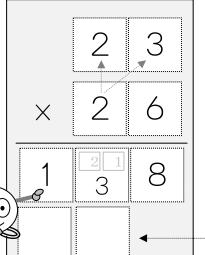
$$6 \times 3 = 18$$

$$6 \times 2 = 12$$

でも、18の1はちいさくかきます。

12の2も ちいさく かきます。

そして、ちいさくかいた 2と1をたします。



つぎに、23×2のけいさんをします。

$$2 \times 3 = 6$$



6と4をここにかきます。

さいごにうえとしたをたします。

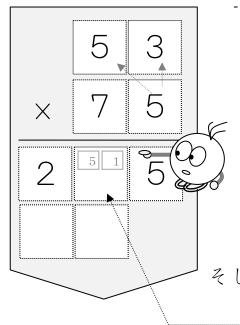
----• 8は したに なにもないから そのまま□。

3 と 6 で □。

1と4で□。



53×75のかけざんをひっさんでしてみましょう。



まず、53×5のけいさんをします。

$$5 \times 3 = 15$$

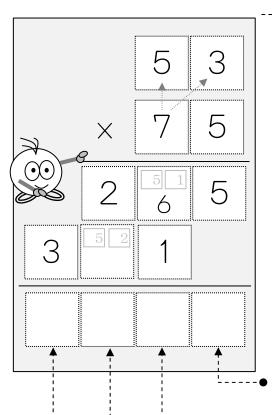
$$5 \times 5 = 25$$

でも、15の1はちいさくかきます。

25の5もちいさくかきます。

そして、ちいさくかいた5と1をたします。

そのこたえをここにかきます。



つぎに、53×7のけいさんをします。

$$7 \times 3 = 21$$

$$7 \times 5 = 35$$



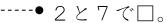
でも、21の2はちいさくかきます。

35の5もちいさくかきます。

ちいさくかいた5と2をたします。

さいごにうえとしたをたします。

<u>-----</u>• 5は したに なにもないから□。

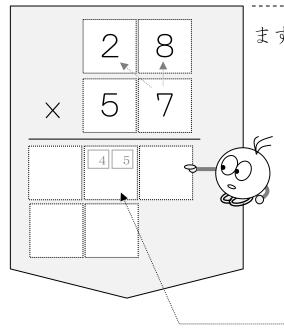




---● 3は うえに なにもないから□。

5

28×57のかけざんをひっさんでしてみましょう。



まず、28×7のけいさんをします。

$$7 \times 8 = 56$$

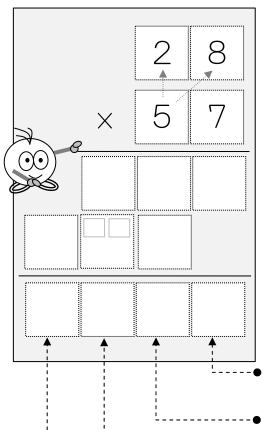
$$7 \times 2 = 14$$

でも、56の5はちいさくかきます。

14の1もちいさくかきます。

ちいさくかいた4と5をたします。

そのこたえをここにかきます。



つぎに、28×5のけいさんをします。

$$5 \times 8 = 40$$

$$5 \times 2 = 10$$



でも、40の4はちいさくかきます。

10の0もちいさくかきます。

ちいさく かいた Oと4を たします。

さいごにうえとしたをたします。

----• 6は したに なにもないから□。

9と0で□。



1と4で□。

1はうえになにもないから□。